

<参考>持参作品等について

環境デザイン 学科

環境デザイン分野への適性を判断する材料としますので、自ら制作の意図や制作過程における工夫などを説明できる作品や、環境デザイン分野への学習意欲をアピールするための資料を持参してください。具体例としては、以下のようなものがあげられます。

- ・学校の授業で取り組んだデッサンや立体造形などの作品
- ・クラブ活動で取り組んだことの成果品や、活動の記録をまとめた資料
- ・自宅学習で制作したイラストや模型などの作品
- ・地域の行事などへの参加体験をまとめた記録
- ・興味を持った建物や風景について、調べたり感じたりした内容をまとめたレポート

プロダクト・インテリア デザイン学科

- ・美術の授業や実習で取り組んだデッサン、絵画、デザイン案、図面、立体作品、模型（写真）など
- ・総合学習や科目学習（歴史・地理・生物・化学など）で取り組んだ個人あるいはグループ課題の提出物
- ・体育祭や文化祭で制作したスタッフグッズ、パンフレット、チラシなど
- ・クラブ活動や自主的に取り組んだ分野での成果品や活動記録

ビジュアル デザイン学科

デッサン、絵画（油絵、水彩画等）、イラストレーション、イメージ表現、色彩構成、ポスター、写真、映像作品、立体作品、クロッキー帳やスケッチブックにまとめられたアイデアスケッチやラフスケッチ、自分でデザインした冊子や絵本など、幅広くビジュアルデザインに関連するもの

映像表現学科

◆デジタルクリエーションコース

過去3年以内の作品を3点以上持参してください。絵画、イラスト、映像、立体物等、作品の種類は問いませんが作品として完成されているもの。文化祭等、一定規模の活動記録も認める場合があります。3点以上含まれていればポートフォリオにまとめたものやパソコン、タブレット端末で閲覧できるものでもかまいません。

◆映画コース、アニメーションコース

自分の個性や得意な事柄をアピールできる作品や取り組みの記録を、現物、あるいはポートフォリオや映像などの形にまとめて、可能な限り多数持参してください。

◆映画コース・・・作品や取り組みの範囲は限定しません。

◆アニメーションコース・・・主として「模写」「デッサン」「透視図」などの絵を見せてください。

ノートの隅に描いた落書きのようなものでもかまいません。具体例としては、以下のようなものがあげられます。

- ・静物デッサン、絵画、イラストレーション、キャラクターデザイン、ノートの落書き、学校行事に関するポスター、クラブ活動の刊行物などの絵画作品
- ・写真作品、コマ撮りアニメ、コンピューターアニメーション、実写映像などの映像作品
- ・自作フィギュア、学校行事に関する創作物（文化祭などの写真資料として）などの立体作品
- ・資格証明書、クラブ活動などの業績を示す賞状、ボランティア活動記録など

まんが表現学科

まんが原稿（ストーリー、4コマなどジャンルは問いません）、イラストレーション、水彩画、アイデアスケッチ、キャラクターやメカのデザイン案、落書きノート、スケッチブック、同人誌など。詳細はP.46「持参について」を参照。

※デジタルでまんが・イラストを描いている場合は、出力した作品を持参するか、記録媒体（USBメモリを推奨します）に作品を記録して持ってきてください。iPadなどのタブレットに記録して持参してもらってもかまいません。

ファッション デザイン学科

スタイル画、自作の衣服やアクセサリなどのファッションアイテム、スタイリング集、イメージカラーージュ、鉛筆デッサン、イメージ表現、イラスト、写真など、学校の授業、各種習い事、自宅で制作した成果物。映像などのデジタル作品は出力するパソコン等の再生装置を持参してください。文化祭、クラブ、ボランティアの活動資料をまとめたファイルなども可とします。

アート・クラフト 学科

持参作品は、試験当日に試験会場に持ってくる作品です。必ず実物の作品を3点以上持参してください。作品は、絵画、デッサン、イラスト、彫刻、フィギュア、陶芸、ガラス、金工、デザイン、写真など「受験生本人が制作した実物」です。他に、参考資料として、作品の写真をまとめた「作品ファイル」や、文化祭や展覧会など、文化イベントの企画運営に参加した人は、その「資料ファイル」なども可とします。

※持参作品および自己PR資料の一部を参考例として選んだものであり、必ずしも、これらの内容に限定するものではありません。